

# 平成 25 年度「全国学力・学習状況調査」における 豊崎本庄小学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成 25 年 4 月 24 日（水）に、6 年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にさせていただきたいと思います。

## 1 調査の目的

- （１） 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- （２） 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- （３） 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第 6 学年、中学校第 3 学年

## 3 調査内容

### （１）教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 【国語 A・算数 A】	主として「活用」に関する問題 【国語 B・算数 B】
・ 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・ 実生活において不可欠であり常に活用できようになっていることが望ましい知識・技能など	・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力 ・ 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

### （２）児童生徒質問紙調査

児童生徒質問紙調査
・ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査



# 平成25年度「全国学力・学習状況調査」検証シート

豊 崎 本 庄 小 学 校

児童数

78

## 平均正答率（％）

	国語A	国語B	算数A	算数B
本校	66.5	55.6	84.5	66.7
大阪市	59.1	46.6	75.9	56.4
全国	62.7	49.4	77.2	58.4

## 平均無解答率（％）

	国語A	国語B	算数A	算数B
本校	6.5	8.3	0	1.7
大阪市	11.5	14.2	1.9	6.5
全国	10.7	13.6	1.7	6.3

## 結果の概要

平均正答率は国語A、B及び算数A、Bともに全国より3.8～8.3ポイント上回っている。その中身を正答数分布グラフから概観すると、国語では正答数中位層がやや多いことが分かる。算数では正答数上位層が非常に多いことが分かる。また、平均無回答率が低いのは「回答時間が余った」割合が高いことと合わせて考えると、問題文の理解はある程度できていると推察される。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、「運営に関する計画」において学力向上の項目で、①言語力の向上を図る、②図書室を効果的に活用し読書量を増やす、という年度目標を立てている。

これまでの取組として、朝の学習（8：30～8：45）の工夫や国語科の研究授業（事前授業を含めてこれまで8回実施）と研究討議会（4回）を行ってきた。また、図書委員会による図書館開放日の増設や読書ボランティアによる読み聞かせ・読書環境の整備などに努めてきた。さらに、北図書館の団体貸し出し利用の取組も始めている。さらに、算数科・国語科の習熟度別少人数指導における重点教材を中心とした計画的な実践も進めている。このように教職員の高い研修意欲と支え合う人間関係の深まりとが相まって、上記の成果となつてあらわれていると考えられる。

今後は、「読む」だけでなく「書く」「聞く」「話す」力が総合的に高まっていく授業のあり方について研鑽を積んでいきたい。



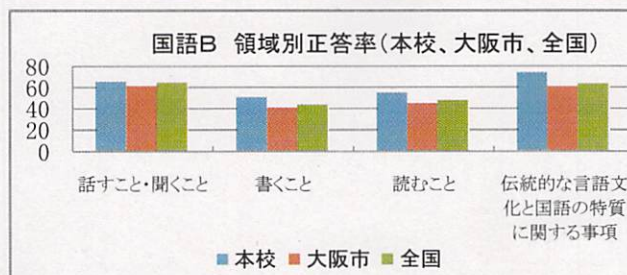
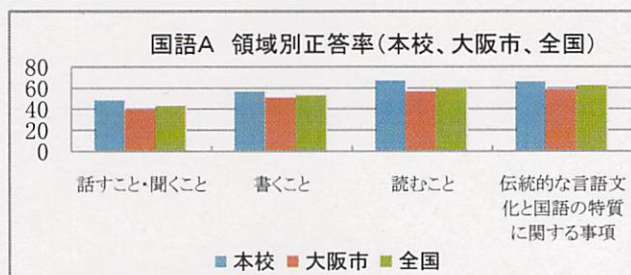
## 【国語】

### 結果の概要

全ての領域において、全国より上回っている。

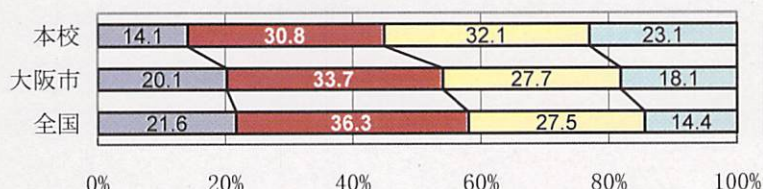
A 問題			平均正答率(%)		
			本校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	1	48.7	39.5	43.2
	書くこと	4	56.7	51.1	53.0
	読むこと	3	67.1	56.8	60.1
	伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	15	66.3	58.7	62.6

B 問題			平均正答率(%)		
			本校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	65.8	61.7	64.8
	書くこと	4	51.0	41.0	43.8
	読むこと	4	55.1	45.1	47.9
	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項	1	74.4	61.0	63.8



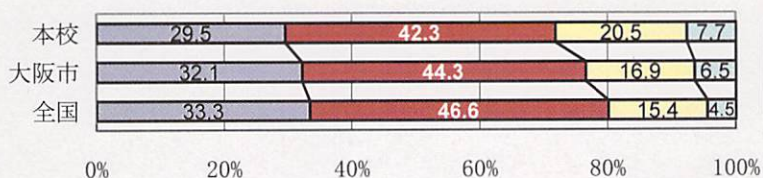
### 国語に関する「児童質問紙」

I 53 II 52 III 62
国語の勉強は好きですか



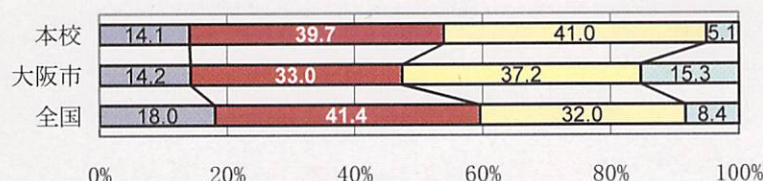
- ☐ 当てはまる
- ☐ どちらかといえば、当てはまる
- ☐ どちらかといえば、当てはまらない
- ☐ 当てはまらない

I 55 II 54 III 64
国語の授業の内容はよく分かりますか



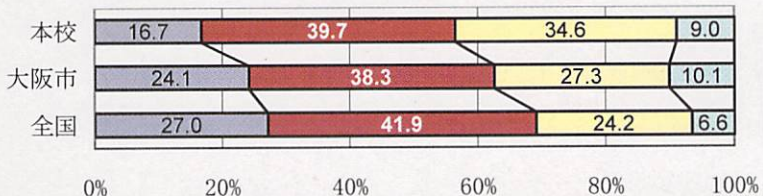
- ☐ 当てはまる
- ☐ どちらかといえば、当てはまる
- ☐ どちらかといえば、当てはまらない
- ☐ 当てはまらない

I 58 II 57 III 67
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



- ☐ 当てはまる
- ☐ どちらかといえば、当てはまる
- ☐ どちらかといえば、当てはまらない
- ☐ 当てはまらない

I 60 II 59 III 69
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか



- ☐ 当てはまる
- ☐ どちらかといえば、当てはまる
- ☐ どちらかといえば、当てはまらない
- ☐ 当てはまらない

### 成果と課題

平均正答率は良い。今後は、「国語が好き」「授業がよく分かる」「自分の考えを話したり書いたりするのが苦にならない」児童の育成をめざす必要がある。

### 今後の取組

授業のパターンを低学年・中学年・高学年に応じて変えたり、視覚化したりして児童がより能動的に学習活動を行う工夫・改善に取り組んでいきたい。



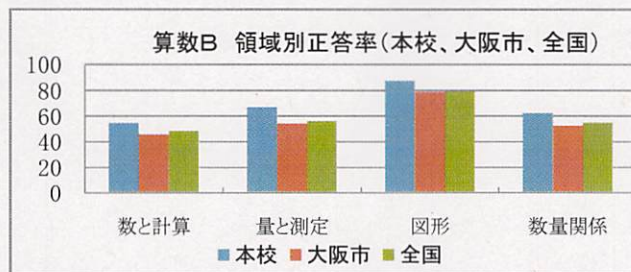
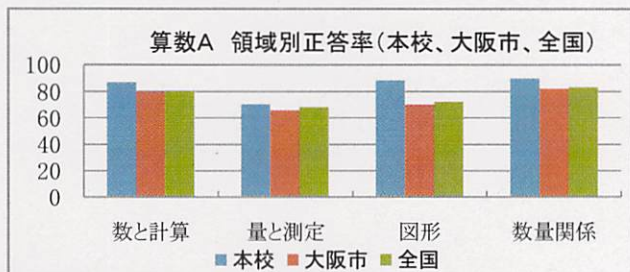
## 【算数】

### 結果の概要

全ての領域において、全国より上回っている。

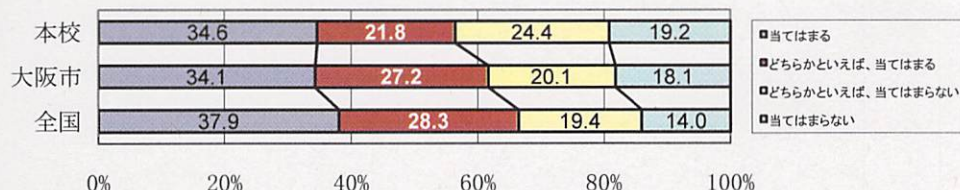
A 問 題			平均正答率(%)		
			本校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	8	87.2	79.8	80.2
	量と測定	4	70.5	66.0	68.3
	図形	3	88.5	70.2	72.5
	数量関係	4	90.1	82.2	83.4

B 問 題			平均正答率(%)		
			本校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	3	54.7	45.7	48.3
	量と測定	7	67.0	54.1	56.0
	図形	3	87.6	78.8	79.3
	数量関係	7	62.3	52.4	54.9

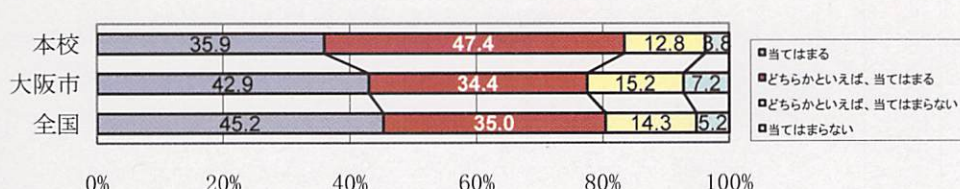


### 算数に関する「児童質問紙」

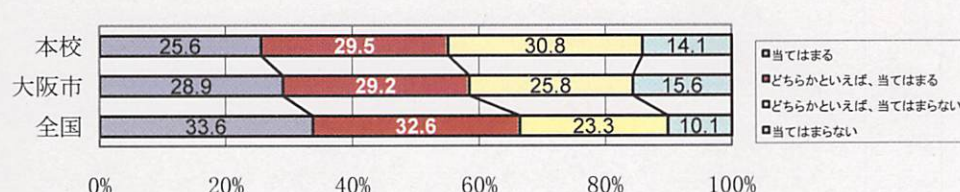
I 73 II 62 III 72
算数の勉強は好きですか



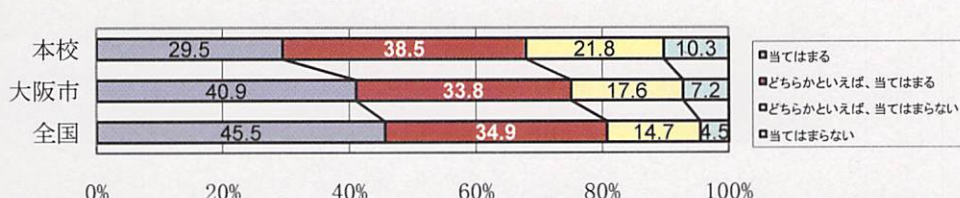
I 75 II 64 III 74
算数の授業の内容はよく分かりますか



I 78 II 67 III 77
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



I 81 II 70 III 80
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



### 成果と課題

平均正答率と「授業内容はよく分かる」とが相関して、よいスパイラルになっている。「算数が好き」「日常生活での活用」「公式やきまりのわけ」など算数の本質に関わる楽しさを教職員が分析して授業に反映させる必要がある。

### 今後の取組

実際の生活における算数・数学的思考や美しさや楽しさに触れる授業のあり方を工夫・改善していきたい。



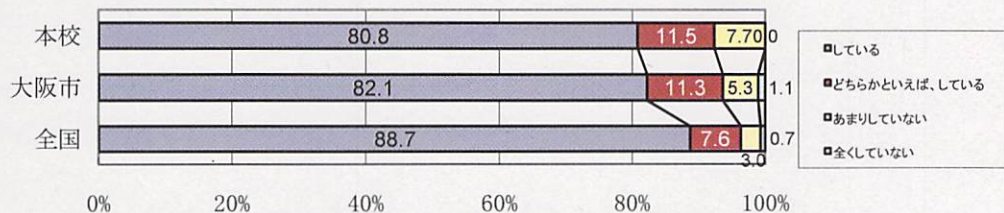
## 基本的生活習慣・自尊感情・規範意識

### 結果の概要

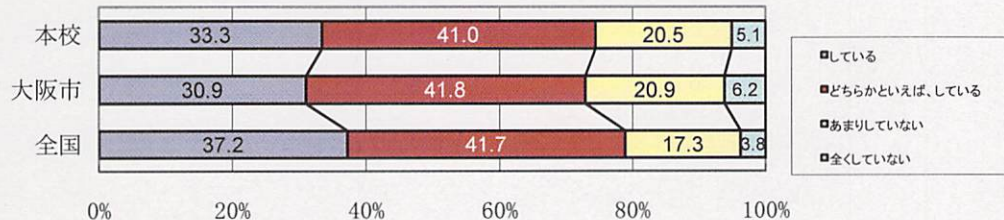
「自分にはよいところがある」という自尊感情を持つ児童の割合が高く非常に良い傾向である。しかし、朝食については、しっかり喫食できている児童とそうではない児童とに二極化している傾向が見られる。「学校のきまりを守っている」という規範意識については、低い傾向がうかがわれる。

質問 番号	質問事項
----------	------

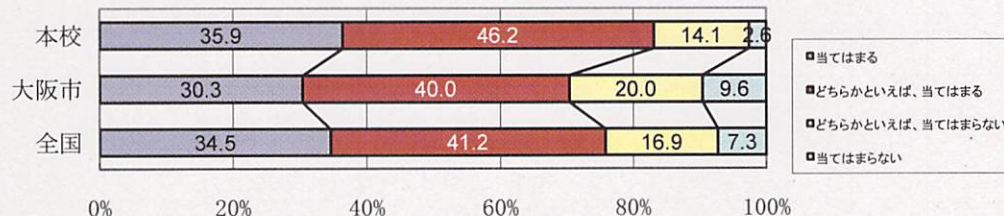
I 1	II 1	III 1
朝食を毎日食べていますか		



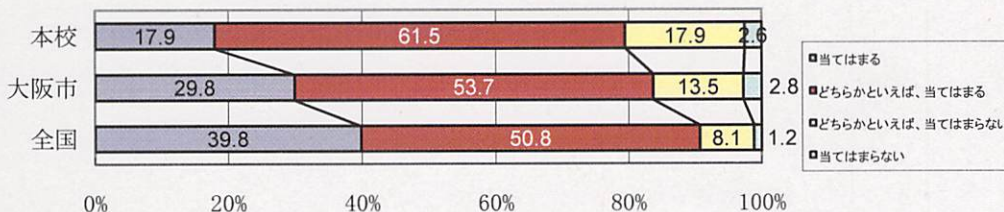
I 2	II 2	III 2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか		



I 6	II 6	III 6
自分には、よいところがあると思いますか		



I 44	II 41	III 44
学校のきまりを守っていますか		



### 成果と課題

児童をほめたり認めたりして自分のよさに気づき、自信を持たせる指導が効果をあげている。学校生活のきまりは教職員が共通理解して徹底指導を行っているため、児童にとっては「叱られた」感があるのではないと思われる。

### 今後の取組

本校の児童のよさである素直さを生かし、道徳を中心に据えて規範意識を高める指導を工夫し改善していく。早寝、早起き、朝ごはん運動は、保護者とともに取組を強化していきたい。



## 家庭学習・読書・学びの質の改善：言語力の育成

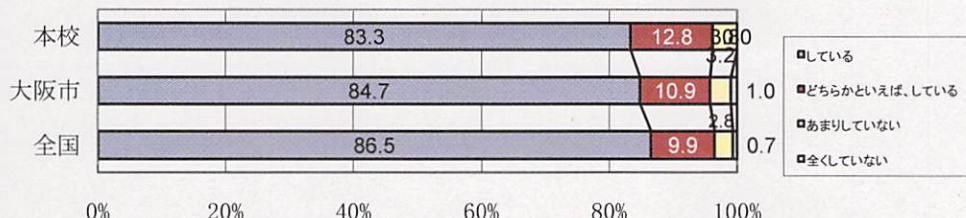
### 結果の概要

学校の宿題は家庭でしてくるが、授業の復習を習慣化している児童は非常に少ない。読書は、昨年度より4%好きな割合は増加しているが全国と比べると低い傾向である。また、授業では友だちとの間で話し合う活動をよく行っているが、自分の考えを述べたり書いたりすることに苦手意識を持っている児童の割合はやや高い。

### 質問番号 質問事項

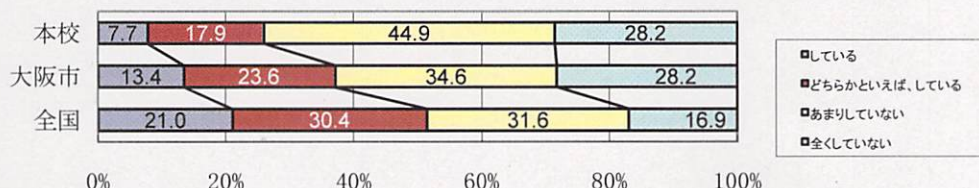
I 30 II 25 III 35

家で、学校の宿題をしていますか



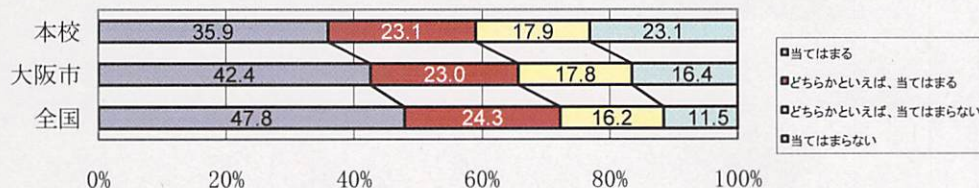
I 32 II 27 III 37

家で、学校の授業の復習をしていますか



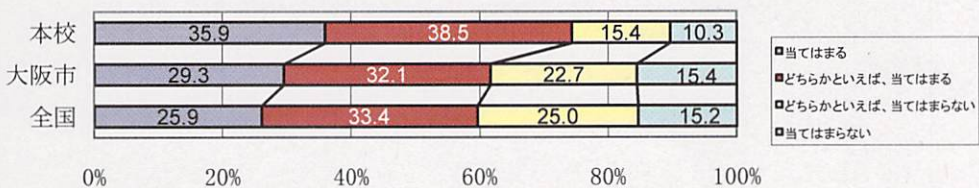
I 56 II 55 III 65

読書は好きですか



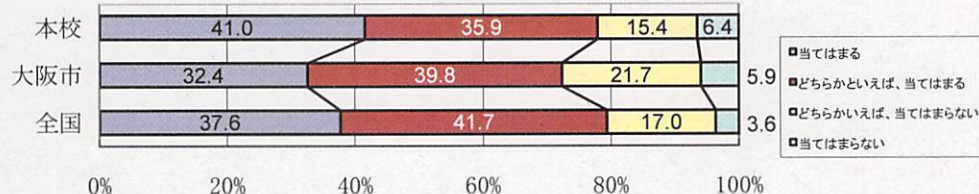
I 52 II 51 III 60

学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか



I 50 II 48 III 56

普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか



### 成果と課題

家庭学習の習慣はある程度身についている。しかし、授業の復習方法が分からない児童は多い。また、国語科の研究授業により児童自身が話し合い活動に手ごたえを感じている。自分の考えを根拠に基づいて効果的に話したり書いたりする活動の楽しさについては、まだ十分にふれてはいない。

### 今後の取組

ノート指導や宿題の中身など工夫・改善を行い、復習の大切さを感じ取らせる取組を進める。読書は量を増やすことのみにとらわれることなく、例え一冊であっても生涯にわたって読み返すような本との出会いをさせたい。自分の頭で考え、簡潔に表現できる力を身につける活動を工夫していく。